

上位の政策名	政策目標2 確かな学力の向上と豊かな心の育成	
施策名	施策目標2 - 2 豊かな心の育成と児童生徒の問題行動等への適切な対応	
主管課 及び関係課 (課長名)	(主管課)初等中等教育局児童生徒課(課長:関靖直) (関係課)初等中等教育局教育課程課(課長:大槻達也)/幼児教育課(課長:義本博司) 特別支援教育課(課長:上月正博)	
基本目標 及び達成目標		達成度合い又は進捗状況
	(基本目標2-2)(基準年度:平成13年度 達成年度:平成17年度) 他人を思いやる心、生命や人権を尊重する心、自然や美しいものに感動する心、正義感や公正さを重んじる心、勤労観、職業観など、子どもたちに豊かな人間性と社会性を育むための教育を実現するとともに、児童生徒の問題行動等への適切な対応を図る	-
	(達成目標2-2-1)(基準年度:平成13年度 達成年度:平成17年度) 幼稚園から高等学校までの全ての学校種において、体験活動をいかした道徳教育や地域人材の積極的活用など特色ある充実した道徳教育を実施する	概ね順調に進捗
	(達成目標2-2-2)(基準年度:平成13年度 達成年度:平成17年度) 全国の小・中・高校において、7日間以上のまとまった体験活動を実施する(再掲)	概ね順調に進捗
	(達成目標2-2-3)(基準年度:平成15年度 達成年度:平成17年度) 児童生徒が望ましい勤労観、職業観を身に付け、個々の能力・適性に応じて主体的に進路を選択することができるよう、職場体験やインターンシップ(就業体験)の充実等を通じて、キャリア教育の推進を図る。	-
	(達成目標2-2-4)(基準年度:平成14年度 達成年度:平成17年度) 全国の公立中学校において、全ての生徒が専門的な教育相談を受けることができる体制を整備する	概ね順調に進捗
	(達成目標2-2-5)(基準年度:平成15年度 達成年度:平成17年度) 不登校対策に関する中核的機能(スクーリング・サポート・センター)を充実し、学校・家庭・関係機関が連携した地域ぐるみのサポートシステムを整備する。	-
	(達成目標2-2-6)(基準年度:平成14年度 達成年度:平成17年度) 学校・教育委員会・関係機関からなるサポートチームの組織化など、地域における支援システムづくりについて研究し、その成果の普及を図る。	概ね順調に進捗
(達成目標2-2-7)(基準年度:平成15年度 達成年度:平成17年度) 障害のある子ども一人一人のニーズに応じてきめ細かな支援を行うために乳幼児期から学校卒業後まで一貫して計画的に教育を行うとともに、学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症などについて教育的支援を行うなど教育に特別なニーズのある子どもについて適切に対応する。	-	
現状の 分析と 今	(達成目標2-2-1) 平成14年度においては、平成13年度に引き続き、全小・中学生に「心のノート」を配布するとともに、「心のノート」の活用のための教師用参考資料を作成し、全小・中学校に配布した。この「心のノート」は、道徳の時間だけではなく、各教科の学習や特別活動など学校の教育活動の様々な場面において活用するとともに、子どもが自らページを開いて書き込んだり、家庭において話題にするなど、子どもの生活の様々な場面において活用することができるものである。このような「心のノート」の趣旨を生かした創意ある活用を通して、授業や生活に意欲的に取り組み、自ら道徳性をはぐくむことができるようにしている。 また、学校や教育委員会の創意工夫を生かした道徳教育を推進するための実践研究である「児童生徒の心に響く道徳教育推進事業」等を、全ての都道府県教育委員会との連携、協力の下に実施し、体験活動を生かした道徳教育や地域人材の積極的活用等による特色ある道徳教育の取組が進められた。なお、幼稚園においては、幼児の心を育てるためのキャンペーンを展開した。 このように、特色ある充実した道徳教育のための取組が各地で進められていることから、概ね順調に進捗しているものと判断する。	
	(達成目標2-2-2) 平成14年度においては、小・中・高等学校における体験活動の実践事例を収集して「体験活動事例集」を作成し、教育委員会等に配布した。また、「豊かな体験活動推進事業」を新たに実施し、各都道府県に「体験活動推進地域」及び「指定校」を指定し、他校のモデルとなる体験活動の推進を図ったところであり、概ね順調に進捗しているものと判断する。	
	(達成目標2-2-3) (平成15年度新規)	
	(達成目標2-2-4) 平成14年度においては、「心の専門家」であるスクールカウンセラーの配置を拡充するなど、教育相談体制の充実のための取組を進めているところであり、概ね順調に進捗しているものと判断する。	

	<p>(達成目標 2 - 2 - 5) (平成15年度新規)</p> <p>(達成目標 2 - 2 - 6) 平成14年度においては、モデル地域を指定し、学校・教育委員会・関係機関等(児童相談所、保護司、児童委員、精神科医、警察等)からなるサポートチームの組織化など、地域における支援システムづくりの研究を行う「サポートチーム等地域支援システムづくり推進事業」を実施しており、概ね順調に進捗しているものと判断する。</p> <p>(達成目標 2 - 2 - 7) (平成15年度新規)</p>																																																
基本目標達成に向けての進捗状況	平成14年度の基本目標の達成度合いについては、各達成目標の達成度合いが「概ね順調に進捗」しているが、昨今の沖縄・長崎等における児童生徒をめぐる一連の事件を踏まえ分析中。																																																
今後の課題	<p>道徳教育については、引き続き、学校や教育委員会の創意工夫を生かした道徳教育、体験活動を生かした道徳教育や、地域人材の積極的活用等による特色ある道徳教育に取り組む必要がある。</p> <p>体験活動については、引き続き、学校における体験活動の充実を図る必要がある。</p> <p>教育相談体制については、引き続き、全国の公立中学校において、すべての生徒が専門的な教育相談を受けることができる体制の整備を図る必要がある。</p> <p>地域システムづくりについては、引き続き、学校・教育委員会・関係機関等からなるサポートチームの組織化など、地域における支援システムづくりの研究を行う必要がある。</p> <p>昨今の沖縄・長崎等における児童生徒をめぐる一連の事件の個別の事情や背景など事実の把握や専門的な分析を踏まえ、適切な対応を図る必要がある。</p>																																																
評価結果の15年度以降の政策への反映方針 (政策評価法第11条に基づく総務大臣への通知事項)	<p>道徳教育については、全小・中学生に「心のノート」を配布するとともに、「心のノート」の活用のための教師用参考資料の作成・配布、学校や教育委員会の創意工夫を生かした道徳教育を推進するための実践研究である「児童生徒の心に響く道徳教育推進事業」等を都道府県教育委員会との連携、協力の下に推進する。また、幼稚園においては、幼児の心を育てるためのキャンペーンを展開する。</p> <p>体験活動については、「豊かな体験活動推進事業」を実施し、各都道府県に「体験活動推進地域」及び「指定校」を指定し、他校のモデルとなる体験活動の推進を図るとともに、都市部から農山漁村や自然が豊かな地域に出かけ、農林漁業体験や自然体験を行うなど、異なる環境における豊かな体験活動を促進する。</p> <p>教育相談体制については「心の専門家」であるスクールカウンセラーの配置の拡充を図る。</p> <p>地域における支援システムづくりについては、「サポートチーム等地域支援システムづくり推進事業」を実施する。</p>																																																
指標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>13</th> <th>14</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域人材を活用した道徳教育の実施状況(学校数)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>学校において体験活動を実施している平均日数 ・小学校 ・中学校 ・高等学校</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>9.2 6.4 6.9</td> </tr> <tr> <td>職場体験の実施状況(公立中学校) インターソップ[®](就業体験)の実施状況(公立の全日制高等学校全体)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>80.5% 38.9%</td> <td>集計中 集計中</td> </tr> <tr> <td>公立中学校におけるスクールカウンセラーの配置校数</td> <td>1661</td> <td>2015</td> <td>2250</td> <td>4406</td> <td>5500</td> </tr> <tr> <td>スクーリング・サポート・センターの数 (平成15年度新規)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>「サポートチーム等地域支援システムづくり推進事業」推進地域数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>盲・聾・養護学校における個別の教育支援計画の策定状況</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	10	11	12	13	14	地域人材を活用した道徳教育の実施状況(学校数)	-	-	-	-	-	学校において体験活動を実施している平均日数 ・小学校 ・中学校 ・高等学校	-	-	-	-	9.2 6.4 6.9	職場体験の実施状況(公立中学校) インターソップ [®] (就業体験)の実施状況(公立の全日制高等学校全体)	-	-	-	80.5% 38.9%	集計中 集計中	公立中学校におけるスクールカウンセラーの配置校数	1661	2015	2250	4406	5500	スクーリング・サポート・センターの数 (平成15年度新規)	-	-	-	-	-	「サポートチーム等地域支援システムづくり推進事業」推進地域数	-	-	-	-	100	盲・聾・養護学校における個別の教育支援計画の策定状況	-	-	-	-	-
指標名	10	11	12	13	14																																												
地域人材を活用した道徳教育の実施状況(学校数)	-	-	-	-	-																																												
学校において体験活動を実施している平均日数 ・小学校 ・中学校 ・高等学校	-	-	-	-	9.2 6.4 6.9																																												
職場体験の実施状況(公立中学校) インターソップ [®] (就業体験)の実施状況(公立の全日制高等学校全体)	-	-	-	80.5% 38.9%	集計中 集計中																																												
公立中学校におけるスクールカウンセラーの配置校数	1661	2015	2250	4406	5500																																												
スクーリング・サポート・センターの数 (平成15年度新規)	-	-	-	-	-																																												
「サポートチーム等地域支援システムづくり推進事業」推進地域数	-	-	-	-	100																																												
盲・聾・養護学校における個別の教育支援計画の策定状況	-	-	-	-	-																																												
参考指標	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>(参考指標) いじめ、暴力行為、不登校の発生数 ・いじめ(小・中・高・特) ・暴力行為(小・中・高:校内) ・不登校(小・中)</td> <td>36396 29671 127692</td> <td>31359 31055 130227</td> <td>30918 34595 134286</td> <td>25037 33130 138722</td> <td>集計中 集計中 集計中</td> </tr> <tr> <td>(参考指標) 学校に通うことが楽しいと感じる子どもの割合</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	(参考指標) いじめ、暴力行為、不登校の発生数 ・いじめ(小・中・高・特) ・暴力行為(小・中・高:校内) ・不登校(小・中)	36396 29671 127692	31359 31055 130227	30918 34595 134286	25037 33130 138722	集計中 集計中 集計中	(参考指標) 学校に通うことが楽しいと感じる子どもの割合		-	-	-	-																																				
(参考指標) いじめ、暴力行為、不登校の発生数 ・いじめ(小・中・高・特) ・暴力行為(小・中・高:校内) ・不登校(小・中)	36396 29671 127692	31359 31055 130227	30918 34595 134286	25037 33130 138722	集計中 集計中 集計中																																												
(参考指標) 学校に通うことが楽しいと感じる子どもの割合		-	-	-	-																																												
備考																																																	

施策目標2 - 2 豊かな心の育成と児童生徒の問題行動等への適切な対応

児童生徒の問題行動等に適切に対応するとともに、豊かな人間性や社会性を育む教育を推進する必要性

達成目標2 - 2 - 1

幼稚園から高等学校までの全ての学校種において、体験活動をいかした道徳教育や地域人材の積極的活用など特色ある充実した道徳教育を実施する

豊かな人間性と社会性を育む教育の実現

達成目標2 - 2 - 2

全国の小・中・高校において、7日間以上のまとまった体験活動を実施する(再掲)

生活体験・自然体験の豊富な子どもたちの育成

達成目標2 - 2 - 3

児童生徒が望ましい勤労観・職業観を身に付け、個々の能力・適性に応じて主体的に進路を選択できるよう、職場体験やインターンシップ(就業体験)の充実等を通じて、キャリア教育の推進を図る。

主体的に将来の進路を選択する能力態度の育成

達成目標2 - 2 - 4

全国の公立中学校において、全ての生徒が専門的な教育相談を受けることができる体制を整備する

生徒指導体制の整備充実

達成目標2 - 2 - 5

不登校対策に関する中核的機能(スクーリング・サポート・センター)を充実し、学校・家庭・関係機関が連携した地域ぐるみのサポートシステムを整備する。

達成目標2 - 2 - 6

学校・教育委員会・関係機関からなるサポートチームの組織化など、地域における支援システムづくりについて研究し、その成果の普及を図る。

特別支援教育体制の整備・充実

達成目標2 - 2 - 7

障害のある子ども一人一人のニーズに応じてきめ細かな支援を行うために乳幼児期から学校卒業後まで一貫して計画的に教育を行うとともに、学習障害、注意欠陥/多動性障害、自閉症などについて教育的支援を行うなど教育に特別のニーズのある子どもについて適切に対応する。

豊かな心の育成と児童生徒の問題行動等への適切な対応
他人を思いやる心、生命や人権を尊重する心、自然や美しいものに感動する心、正義感や公正さを重んじる心、勤労観 職業観など、子どもたちに豊かな人間性と社会性を育むための教育を実現するとともに、児童生徒の問題行動等への適切な対応を図る